

11月27日の桜山登山に行って

M . O

今回の登山は前回の高鈴山登山とは違って、ハイキング感覚で登れる山でした。視覚障害の方も一人しかいなかったのも、サポート中心の登山ではなく、仲間と一緒に冬のひんやりとした空気の中、紅葉と冬桜を楽しむ登山でした。

今回は立教生5人の参加で、サポートは交代する形になりました。私は2回目の参加だったのでサポートに少し慣れていて、次の人に交代するとき「Oさんのサポート分かりやすく良かったよ」と言われて嬉しかったです。でも足を躓かせてしまったときは、ちゃんとサポートしているつもりだが説明不足だった、ということに気付かされました。次に登山に参加するときはもっとはっきり分かりやすくサポートしようと思います。

先にも言ったように、桜山はハイキング感覚で登れる山でした。ここ最近ずっと忙しい日々を送っていたので、いつもとは違う自然の中で気持ちよく、のんびりと過ごすことができました。とてもリラックスできました。紅、オレンジ、黄色と様々な色に紅葉しているモミジはとても綺麗でした。また今回、冬桜というものを初めて観ました。桜といえば春の温かくなりだした頃に咲く花というイメージがあるので、この寒い冬に咲いていると聞いて驚きました。桜山のいたるところに咲いていたのですが、こぢんまりとしている桜でした。寒い冬の中でも一生懸命に儂く咲いている花は可愛らしくもあり、また少し切ないような気もしました。

下山してからバスが来る時間まで、時間がかかりあったのでみんなで近くの喫茶店に入りました。その喫茶店は温かいうどんも売っていて、アルプの会員の方が立教生にそのうどんを奢ってくれました。しかも天ぷらまでいただきました。寒い中一生懸命歩いて、少し着かかっていたときに食べたうどんは最高においしかったです。気さくで優しいアルプの会員の方々にとても感謝しています。

私が今回の登山で得た一番のものは仲間だと思います。一緒に行った立教生は、普段週に一度のフィールドスタディでしか話さないのも、仲良く協力し合って登れるかどうか少し心配でしたが、とても仲良くなりました。次の登山でもたくさんの仲間を作りたいです。またアルプの方たちとももっと話したいと思いました。Aさんをはじめ植物に詳しい方ばかりで、話を聞いていてとても参考になります。今回得た経験を生かして、次の石老山登山に望みたいとおもいます。